



笑顔あふれるまちづくり

いいぬま雅子

品川区議会議員区政報告

NO. 370. 2011. 12. 11.

区議会文教委員会報告（9月26日）

# 品川区奨学金貸付事業を改悪

## 学費無償化が世界のルールなのに

主な変更点	現 行	改 定
1. 奨学金の種類 (1) 在学資金の限度額	公立 月額 13,000円	公立高校授業料の不徴収の間は貸付を停止する。
	私立 月額 28,000円	高校就学支援金実施の間1万5千円に減額する。
(2) 入学準備金	奨学生に貸付 貸付額 公立 7万円 私立 20万円	在学資金申請者のうち希望する奨学生の保護者に貸付（貸付額は同じ）
2. 返還期間 (1) 入学準備金	貸付終了・据置期間終了後15年の均等分割返済	入学年度含め3年度以内
	(2) 在学資金	年額 公立 3万5千円 私立 8万円程度
3. 返済方法	納入通知書	原則口座引落
4. 区制度の位置づけ	都制度との並立型	都制度の補完型

※2011年11月1日施行

奨学金は、親の経済状況で子どもが高校や専門学校に通えないことがないようにつくられた制度です。ところが、不況下ますます重要な制度を濱野区長は貸付を狭くするなど回収優先へと改悪を提案。共産党以外の賛成で可決しました。（11月1日から施行）。

若者を大切にしない政治に未来はありません。

今回の奨学金制度改定は、今年4月から国が公立高校授業料の無償化（不徴収）を実施。私立高校も負担軽減となったことを機に、区の制度そのものを後退させるものです。

制度変更の主な点は表のとおり。①在学資金は公立高校は授業料無償化の間は貸付は授業料無償化の間は貸付は停止し、私立高校は今年4月から国が公立高校授業料の無償化（不徴収）を実施。私立高校も負担軽減となったことを機に、区の制度そのものを後退させるものです。

②入学準備金については貸し付けを本人から保護者に変更し、返済期間は15年の均等払いから在学中の返済に変更するなどです。あわせて、③都奨学金と併用できた制度から都制度の「補完型」に変更し

し付けを停止。私立高校などは月額2万8千円を1万5千円に減額する。②入学準備金については貸し付けを本人から保護者に変更し、返済期間は15年の均等払いから在学中の返済に変更するなどです。あわせて、③都奨学金と併用できた制度から都制度の「補完型」に変更し



TPPに反対して、日本の安全な農産物を守ろう。遺伝子組換え食品、添加物規制緩和、食物自給率13%になったら、たいへん。

ます。奨学金は充実こそ必要なのに、改悪することとは認められません。

私立高校の場合、初年度納付金が45万円ほどかかるのに、奨学金の入学準備金が20万円のみ。さらに通学費や制服、教科書、学用品代など不足分は親が負担しています。そうしたなかの奨学金の減額です。行政は区民の生活実態をみていないのでしょうか。

奨学金は、子ども自身

### 保護者に貸付けとは？

が借りて卒業後就職して返済する制度です。入学準備金の貸し付けを本人から保護者に変更することとは、超氷河期といわれる就職難のなか貸付の焦げ付きを避けるため親御さんに負担させて早く回収するのがねらいです。

品川区は、「入学準備金は身支度や教材の費用なので、保護者が負担するほうが現在の状況に合う」、「入学時に保護者に負担してもらって、卒業後の本人負担を軽減する」と説明しますが、「入学準備は親の責任」といって親御さんに負担させるのは奨学金制度の趣旨に反します。

都の奨学金は9月初旬

### 品川区の制度は「補完型」と言うが

で×切るため、品川区は申し込みに遅れた方を対象にする「補完型」にするなどとのべています。しかし、「補完型」にするこにより例年50件〜70件ほどの区の奨学金利用が10件程度になると見込んでいます。区の説明は制度の後退を合理化するものです。

いま、国民の所得が減り続け、子育て世代でも貧困が広がっています。費用がかかるクラブ活動をあきらめる子どもが多くなります。

品川区は毎年数十億円も貯金を上積みしています。共産党は奨学金を返済不要の給付型にするよう提案しています

### 先進国で授業料無料

高校や大学の学費無料をめざすという国際人権規約の条項を承認していないのは、157カ国のうち、日本、ルアンダ、マダガスカルの3カ国だけ。ほとんどの国が、若者がお金の心配なく学べるよう努力しています。奨学金制度は給付型が主流です。

### 地球にやさしいリサイクル

12月18日(日) バザーにきてください

午前10時から午後2まで(雨天23日)

いいぬま雅子事務所にて

主催 いいぬま雅子事務所バザー実行委員会

### 老化やがんを防ぐ抗酸化物質 “ファイトケミカル”

色の濃い野菜は抗酸化物質の宝庫です。老化やがん、動脈硬化など多くの病気の引き金になる活性酸素の抑制に役立つ抗酸化物質が、野菜の色素にたっぷり含まれています。それがファイトケミカルです。色の濃い野菜を主体に、彩りよく、毎日両手に3杯おいしく食べて元気になりましょう。

放射性物質の除去…野菜をよく洗う・煮る(煮汁は捨てる)、皮や外葉をむく。酢洗い・酢漬けなどで汚染の低減が期待できます。